

2025年6月23日

DENSO KOBELCO SARD GR Supra
第3戦セパン、一意専心に勝利を狙う!

SUPER GT 第3戦セパンレポート

2025 SUPER GT 第3戦「SUPER GT MALAYSIA FESTIVAL 2025」(6/26-28)
セパン国際サーキット(1周5.542km)

■ 事前情報

2019年以来の海外戦で2013年以來のマレーシア・セパンでの開催となる第3戦。DENSO KOBELCO SARD GR Supraは、開幕戦3位、第2戦5位で現在シリーズランキング5位につけている。6月26日（木）午後に1回目の公式練習走行、27日（金）午前には2回目の公式練習、午後にノックアウト方式（Q1、Q2）の公式予選、28日（土）決勝は16時30分の夕刻時にスタート。300km（55周：約2時間）で争われ、ドライバー交代を伴うピットストップは1回が義務付け。1人のドライバーの最大運転周回数は36周まで。サクセスウェイトは現獲得ポイントの倍となる34kgを搭載する。重量増によるセパンでのタイムの落ち込みは、34kgだと約0.5秒程度と見込まれ、タイヤの持ち込みセット数は、ドライ6/ウェット8セットで決勝スタートまで使うドライのマーキングは6セットとなる。



灼熱の国マレーシアのセパンサーキットは、クアラルンプール国際空港からクルマで15分ほどの近距離に位置し、コースは比較的フラットでメインとバックの2本のストレートとV字の最終コーナーがあり、それを中高速コーナーでつなぐ、割りときスピードレンジの高いレイアウト。高湿度や酷暑ゆえにドライバー、タイヤ、クルマに厳しく、また局地的なスコールによる降雨の影響も大きい。レース後にはライブイベントが開かれるなど、お祭りの要素も多くあって正にフェスティバルが復活。記録によると、ここセパンでGT500トヨタ陣営が勝ったのは遡ること21年前の2004年の「デンソーサードスープラGT（デュフォア／クート組）」。また前回の2013年セパン大会では脇阪寿一監督が石浦宏明選手と組んで「DENSO KOBELCO SC430」で2位を獲得している。再びトビラが開かれたセパンの地で先陣を切る意気込みで、脇阪寿一監督のもとチーム一丸となって、一意専心にチカラの限りを尽くし勝利を狙っていく。

■ Partners

TOYOTA

WAKOS

TOYOTA
FINANCIAL SERVICES

小松開発工業

MECHANIX WEAR

KOBESTEELERS

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

TE

豊田通商

TONE

MAKE
WINNER

SARD

DENSO

豊田自動織機

UNIVANCE

Mizuno

UNIMAT LIFE

KOBELCO

JTEKT

INOS

ENKEI

P1

TGR-D

豊田合成

transcosmos
digital technology

hp

admic

BRIDGESTONE

BRIDGESTONE
TOYO TIRES

C3 FILM

ALTAIR

■情報参照先

●サード公式ウェブサイト : <https://www.sard.co.jp>



[X](#)

[Facebook](#)

[Insta](#)

[threads](#)

[YouTube](#)

●SUPER GT : <https://supergt.net/jp>



■本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: media@sard.co.jp

SARD

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

www.sard.co.jp